



## 子どもたちの「声」から見える成長と、これからの歩み

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。先日実施いたしました「学校評価アンケート（1～3年生）」の結果がまとまりました。子どもたちが日々の生活をどのように感じているのか、その素直な「声」から見えてきた本校の強みと課題、そして今後の取り組みについてご報告いたします。

### 児童アンケート（1～3年）

アンケート項目	そう思う %	少しそう思 う %	あまりそう 思わない%	そう思わ ない %
1 自分の気持ちや考え、用事をきちんと話すことができますか。	85.7	14.3	0	0
2 先生や友達の話をよく聞いていますか。	67.9	32.1	0	0
3 学校の勉強はよくわかりますか。	57.1	39.3	3.6	0
4 家で勉強していますか。	85.7	14.3	0	0
5 目標をもって、進んで勉強していますか。	82.1	17.9	0	0
6 友達と仲良くしていますか。	89.3	7.1	3.6	0
7 今、学校で友達にいやなことを言われたり、されたりすることはありますか。	ありません。 82.1		あります。 17.9	
8 休み時間、外で元気に遊んでいますか。	75.0	14.3	10.7	0
9 家で学校のことを話していますか。	82.1	10.7	7.1	0

### 🌟 本校の強み：学校と家庭をつなぐ「笑顔の会話」

アンケートの結果、最も嬉しく感じたのは、ほぼ全ての児童が「家で学校のことを話している」と回答したことです。学校での出来事を家庭で共有できていることは、子どもたちの安心感の土台です。また、「家で勉強している」「目標を持って進んで学ぼうとしている」という意欲も高く、ご家庭での温かい励ましが子どもたちの学習習慣を支えていることが強く伝わってきました。

## 🔍 今後の課題：一步踏み込んだ「言葉の力」と「聴く力」

一方で、学年が進むにつれて、友人関係や学習面での悩みも少しずつ見えてきています。

- 友人関係：「嫌なことを言われた」「やめてと言っても続いてしまう」といった声の一部が見られました。低学年から中学年への移行期は、自己主張が強まり、相手との距離感に悩む時期でもあります。
- 学習面：「先生や友達の話をしっかり聴く」という項目において、さらに意識を高めていく必要を感じています。

## 🚀 これからの取り組み

これらの結果を受け、本校では以下の活動に重点を置いてまいります。

1. 「ふわふわ言葉」と「聴く姿勢」の育成 相手の気持ちを想像し、優しい言葉（ふわふわ言葉）で伝える指導を強化します。また、「聴く」ことは「相手を大切にすること」とであると伝え、授業中の集中力を高める工夫を凝らします。
2. 子どもたちの「やりたい！」を形に 自由記述欄には「大縄跳びをもっと頑張りたい」「みんなでお弁当を食べたい」「係活動を工夫したい」といった前向きな提案がたくさんありました。こうした主体的な意見を学級活動や行事に取り入れ、「自分たちの手で学校を楽しんでいる」という自信を育みます。

子どもたちの健やかな成長には、学校と家庭の連携が欠かせません。アンケートで見えてきた小さなサインを見逃さず、職員一同、一人ひとりに寄り添った指導に努めてまいります。引き続き、温かい見守りをお願いいたします。